I-T-Oの海外ASEAN展開



Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

I-T-O株式会社

2023年6月9日

会社概要・変遷



公的認可：

経済産業大臣認定高圧ガス設備製造事業所

大阪府知事許可特定建設業登録

ISO9001認証、ISO14001認証 (※1)

1929年　5月　伊藤製作工場として創業開始

1953年　11月　法人化し大阪府東大阪市に伊藤工機株式会社を設立

2014年　4月　I・T・O株式会社へ社名変更

創立60周年を機に、従来

培ってきた

ブランド、信用と技術力を

活かし

国内は基より海外市場へも

更なる

飛躍の為、世界の人々に発音しやす

く、

馴染みやすい社名へ

2022年　10月　I・T・O（株）

売上高 131億円

社員数 302名　(10月20日時点)

本社工場　116 名

（※1）ＩＳＯ認証の製品及びサービスの範囲：バルブ・ガス供給用機器/ ＩＳＯ認証対象組織：本社、本社工場、滋賀工場
　ＩＳＯ認証の製品、プロセス、サービスで特定される活動：バルブ、ガス供給用機器 / ＩＳＯ認証対象組織：本社、本社工場、滋賀工場
（※2）営業本部、設備システム部は拠点として計算

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

経営理念

品質至上主義に徹し
いかなる環境の変化にも対応し
うる
強固な企業文化を確立し
社会に貢献する

I·T·O
Innovation (革新)
Technology (技術)
Origination (開発)
It's what we do !

We adhere to a Quality First policy and have established
a robust corporate culture in which we are able to address

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

品質方針

品質至上に徹し
「顧客の信頼と満足を得る品質」の実現
と
「サービスの質的向上」を図るため
品質マネジメントシステムを運用し
継続的な改善活動を行う。

Operate the quality management system and continuously perform improvement activities in order to realize “the quality that secures customer

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

事業ドメイン



LPガス事業



都市ガス事業





日本都市ガス協会
技術大賞受賞

海外事業



防災・減災事業



工事エンジニアリング事業



※国土強靭化基本計画などに拠る政府・地方自治体補助金を活

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

LPガスの供給方式

LPガス



戸別供給



集団供給



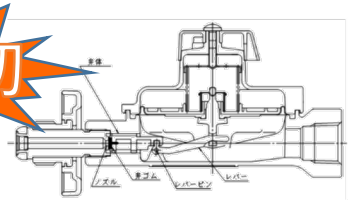
バルク供給

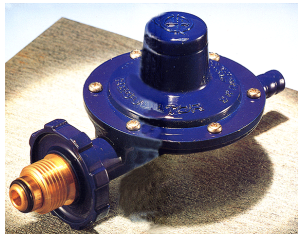
Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

LPガスと製品開発

製品が製品を生み出す、付加価値製品の誕生

日本初





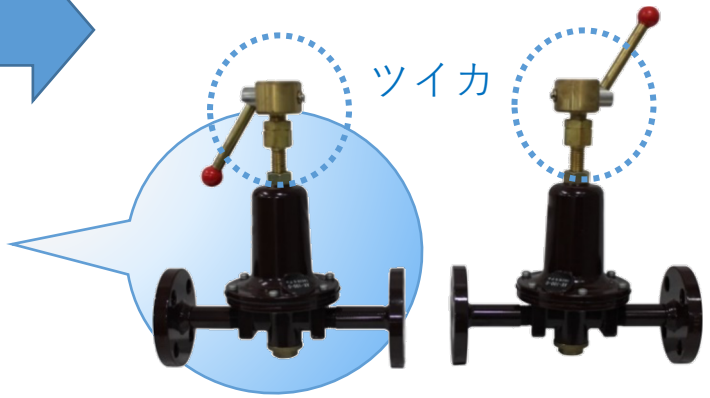
ピストン型調整器

調整器
（一段目）



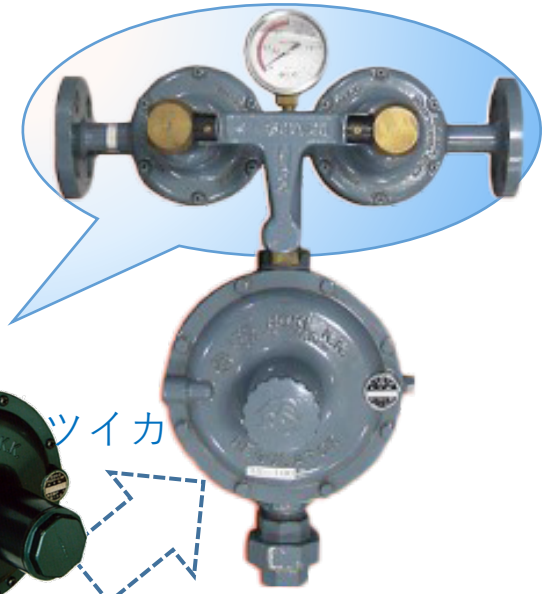
CM-100

自動切替式調整器
（一段目＋自動切替機能）



ツイカ

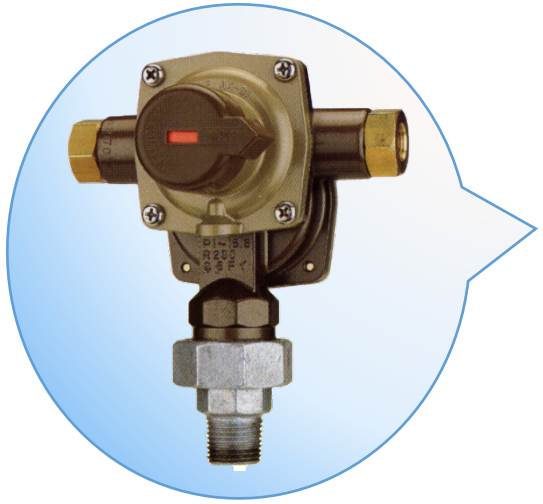
自動切替式一体型調整器
（一段目＋自動切替機能＋二段目）



ツイカ

世界初

完全一体化

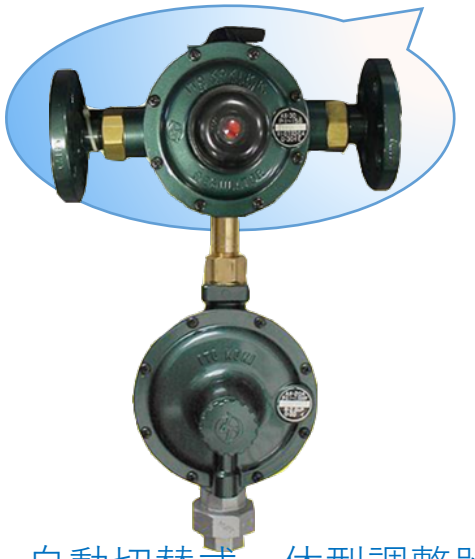




TAXS-8C

自動切替式一体型調整器

一体化



自動切替式一体型調整器



ツイカ

TAX-30HLU

発信機能付き
自動切替式一体型調整器

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

LPガスと製品開発

製品が製品を生み出す、付加価値製品の誕生



D1-25F

グローブバルブ
開発年:1962年



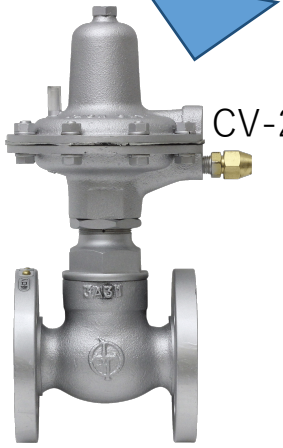
D7-25F

ストレーナバルブ
開発年:1983年



D2-25F

ストレーナ
開発年:1963年



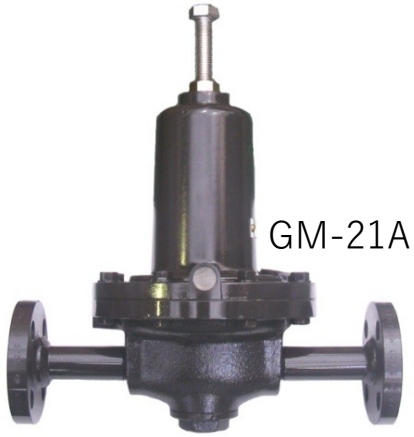
CV-25F

緊急遮断弁
開発年:1965年



EQ-25

感震遮断弁
開発年:1997年



GM-21A

二段式一次用調整器
開発年:1981年

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

LPガスと製品開発

1971年 世界初完全一体型LPガス家庭用「自動切替」式調整器を開発、販売。

- ○　ガス切れ防止
- ○　配送合理化により業者の利益増
- ○　計画配送に拠る労働環境の変革
- ○　軒下備蓄による災害対応

→災害時エネルギー供給『**最後の砦**』



ぶくぶく

「自動切替調整器」は、片方のボンベのLPガスが少なくなったら、自動的に予備側のボンベから
不足分のLPガスを補給します。
鉄製ボンベの代わりに、透明の耐圧ガラスで“LPガスが発生している状態”をわかりやすくし
「自動切替調整器」の普及に努めました。

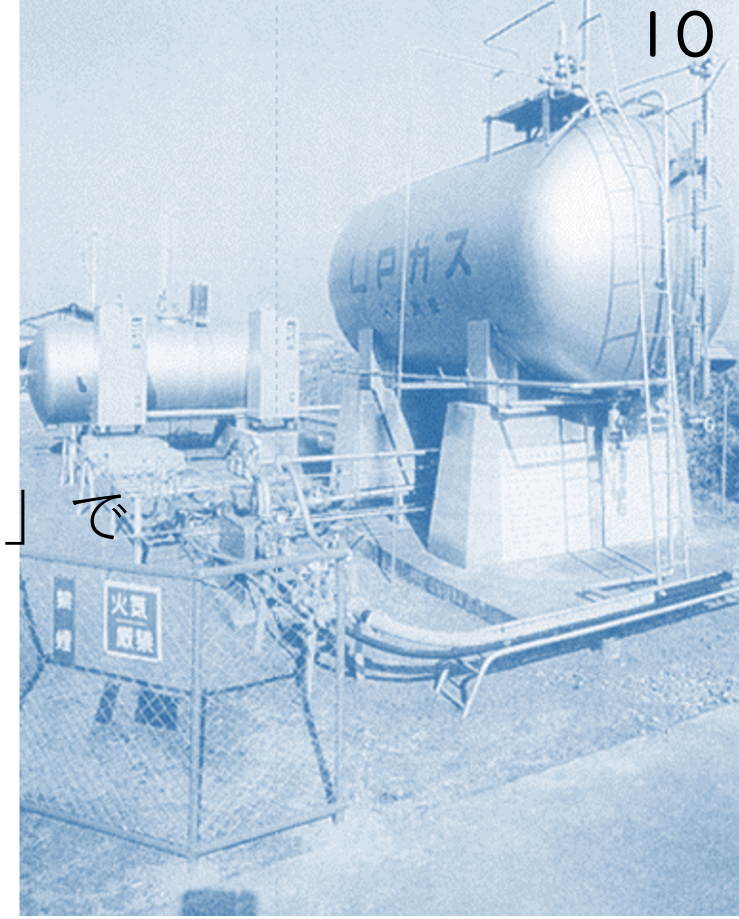


※LPガスは−42℃以下になると液化します

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

新市場と製品開発

1962年　伊藤LPGプラント株式会社設立
1965年　韓国ソウル市に韓国初LPGプラント輸出
1967年　都市ガス用器具ガバナ開発、都市ガス業界進出
1995年　阪神淡路大震災発生
　　世界初「空気吸入式移動式ガス発生装置」で
　　遮断された都市ガス供給復旧に貢献
1997年　液化石油ガス法改正で民生用バルク供給スタート
1999年　韓国よりバルク輸入販売開始
2020年　中国よりバルク輸入販売開始

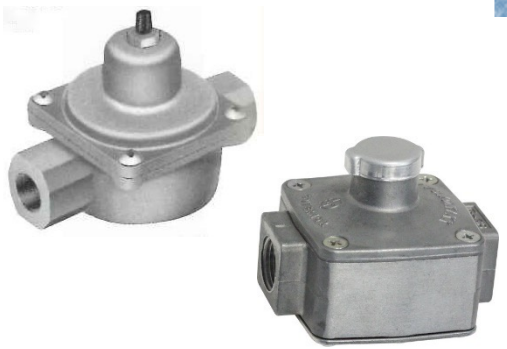




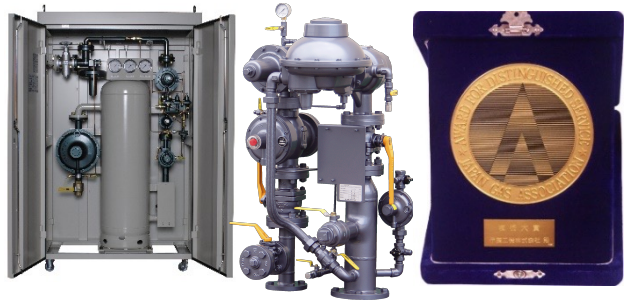
韓国輸出額300万＄達成
韓国大統領表彰



阪神・淡路大震災における復興支援活動
通商産業大臣表彰



都市ガス業界参入
器具ガバナ



防災減災・都市ガス製品
日本ガス協会技術大賞受賞

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

ＩＴＯグループ企業

`22年10月時点

	設　立	会社名	社員数	国
①	1953年11月	伊藤工機株式会社 →Ｉ・Ｔ・Ｏ株式会社	302 名	日本
②	1990年　4月	イトーテック株式会社	28 名	日本
③	1998年　9月	韓国Ｉ・Ｔ・Ｏ株式会社	31 名	韓国
④	2001年　4月	アイティオー・エフシステム株式会社	7 名	日本
⑤	2003年　4月	伊藤未来設備貿易（上海）有限公司	11 名	中国
⑥	2005年10月	伊藤未来能源設備（上海）有限公司	27 名	中国
⑦	2007年　7月	ITOベトナム株式会社	26 名	ﾍﾞﾄﾅﾑ
⑧	2011年　2月	ITO EUROPE LIMITED	1 名	英国
⑨	2013年　9月	KPP＆ITO →　ITO EnS Co., Ltd.	20 名	韓国
⑩	2016年　5月	TOKAI MYANMAR Co., Ltd.	11 名	ﾐｬﾝﾏｰ
⑪	2018年12月	浙江金象伊藤智能控制有限公司	8 名	中国
⑫	2022年　3月	株式会社ホクセイ	10 名	日本

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

ITO VIETNAM CO., LTD

http://itovietnam.com



設立

2004年3月　アイティオー・エフシステム(株)ホーチミン駐在所を開設

2007年4月　ITOベトナムをホーチミン市に設立

2012年8月　ハノイ事務所を開設



従業員数

26名（日本人1名）

取得ライセンス

・ ガス供給設備の設計・施工およびメンテナンス事業

・ 減圧弁・バルブ等ガス関連製品の輸出入・小売販売事業

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

ベトナム進出のきっかけ

ホーチミン市第７区“Phu My Hung”地区100万人都市構想









COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

集合住宅用LPガス供給システム

一般住宅



コンロ下にボンベ

ガスが無くなれば消費者が交換







ワンタッチで圧力を切り替えられる(LPG→NG)メータ前調整器





屋外タンクから全戸まとめて供給
戸別ボンベ不要

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.



【PMH事業】ミーカンアパートメント
980kg埋設タンク供給システム　76戸



【PMH事業】グランドビューアパートメント
2.9t埋設タンク供給システム　314戸



SAKURAレジデンス(日系)
40本容器 x 6カ所供給システム　2,500戸



Daewon-Cantavilアパートメント(韓国系)
2.9t埋設タンク供給システム　410戸

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

業務用ガス供給設備への展開

ショッピングモール



40本シリンダーx 2箇所 / 2.9t埋設タンク+館内配管

ファーストフードチェーン



ファーストフード店、全国100店舗以上

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

産業用設備への展開

調味料工場



50tタンク x 2基+1,500kg/h空温式VR x 3基

ビール工場



30tタンク x 1基+1,200kg/h空温式VR x 1基

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

周辺国への展開　ミャンマー

STAR CITY Yangon





事業計画



建築現場

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

業務用・産業用ガス設備への展開

MYANMAR PLAZA＆ MELIA YANGON HOTEL



20本x20本 容器+200kg電熱式VR+館内配管

製罐工場



10tタンクx1基+200kg電熱式VR

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

周辺国への展開　カンボジア

ショッピングモール　2号店・3号店



7tタンクx1基+２00kg電熱式VR×3基



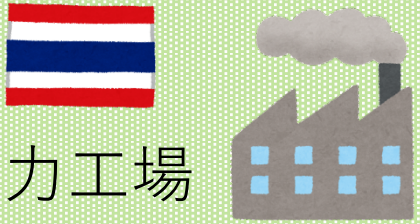
15tタンクx1基+200kg電熱式VR×3基

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

※消費量500kg/hで電熱温水式(韓国製)を12h/d×26d/m×12m/y運転した場合の電気代(産業用@ベトナム)と空温式(タイ・日本製)を日本円で比較した場合。

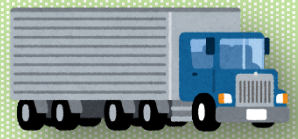
多国間連携

ASEAN



協力工場
OEM生産

最大4年半で
償却可能に❗
※





ITOベトナム
販売・施工
メンテナンス





制御部

・体積：小
⇒ ｺｱﾊﾟｰﾂで
優位性確保



・体積：大
・設置面積：大
⇒　輸送費：高

フィン部

フィンロング化で
更に輸送費低減!



現地組立・完成検査品



I・T・O(株)
製品設計
制御部生産

I・T・O現地法人製造品を日本からASEANへ仲介貿易するこ
とも

COPYRIGHT (C) 2023 ITO CORPORATION . ALL RIGHTS RESERVED.

進出成功のポイント①

ブランド力を高める
世界的イベント／展示会へ継続して参加する

Since 2002



世界LPガスフォーラム

2002年10月　第15回タイ・バンコク大会
～
2022年11月　第34回インド・ニューデリー大会

Since 2011



欧州LPG協会代表者会議

2011年6月　ルーマニア・ブカレスト

2022年6月　スペイン・バルセロナ

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント①

ブランド力を高める
世界的イベント／展示会へ継続して参加する



E-world energy & water 2018
ジェトロ・大阪府パビリオン
2018年2月　ドイツ・エッセン



St Petersburg International Gas Frum
2019年　8月　JETRO『「新輸出大国コンソーシアム」専門家による 海外展開ハンズオン支援』採択
2019年10月　ロシア・サンクトペテルブルク・モスクワ

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント②

オンリーワン製品をもつ



空温式ベーパーライザー
SRシリーズ



PAシリーズ
移動式ガス発生装置



H5-EXメーター前ガバナ
（ワンタッチ切替）

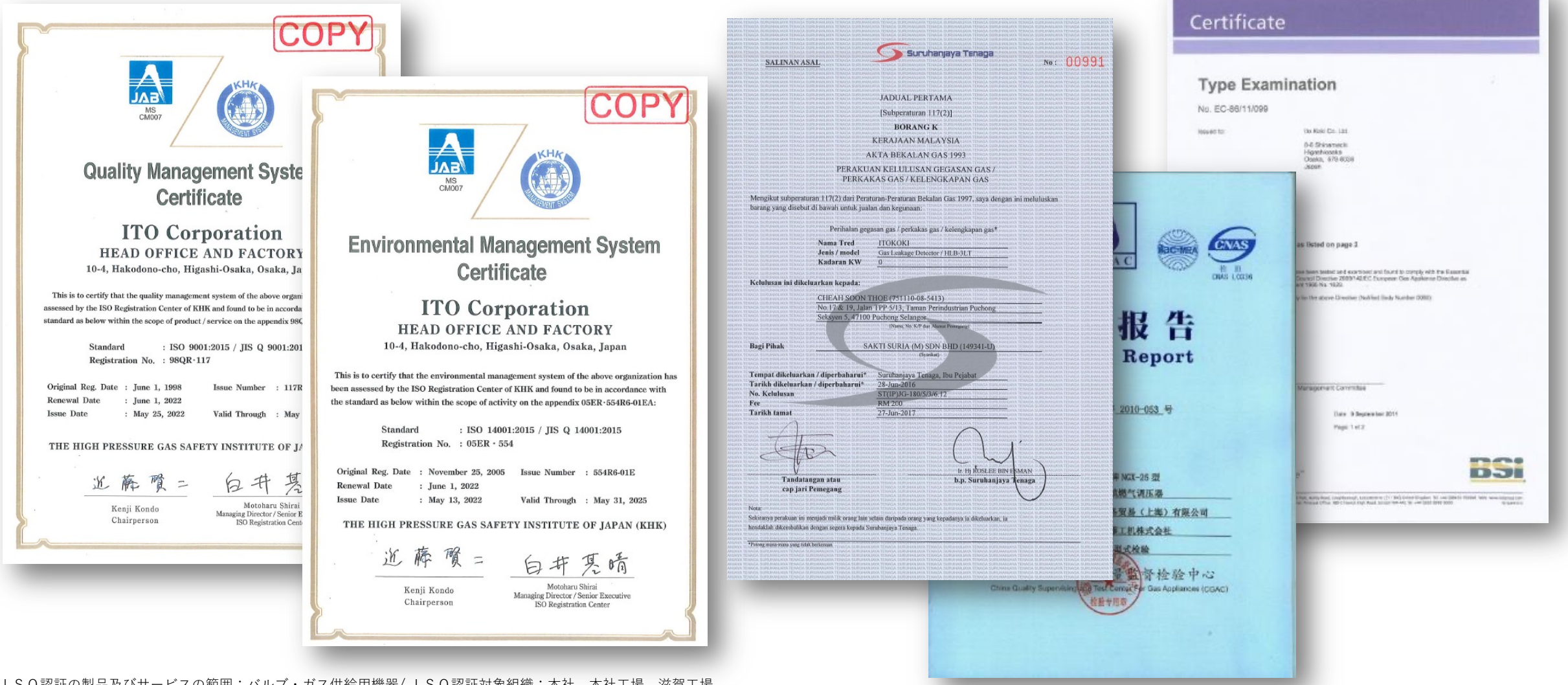


LAX-20シリーズ
液自動切替装置

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント③

ISO9001・ISO14001及び現地製品規格認証取得



ＩＳＯ認証の製品及びサービスの範囲：バルブ・ガス供給用機器/ ＩＳＯ認証対象組織：本社、本社工場、滋賀工場
ＩＳＯ認証の製品、プロセス、サービスで特定される活動：バルブ、ガス供給用機器 / ＩＳＯ認証対象組織：本社、本社工場、滋賀工場

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント④

現地の日本人会に積極的に参加



The Japanese Chamber of Commerce and Industry in HCMC
ホーチミン日本商工会議所

懇親ゴルフ大会2022

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント⑤

ゴルフ会員権の購入



Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント⑥

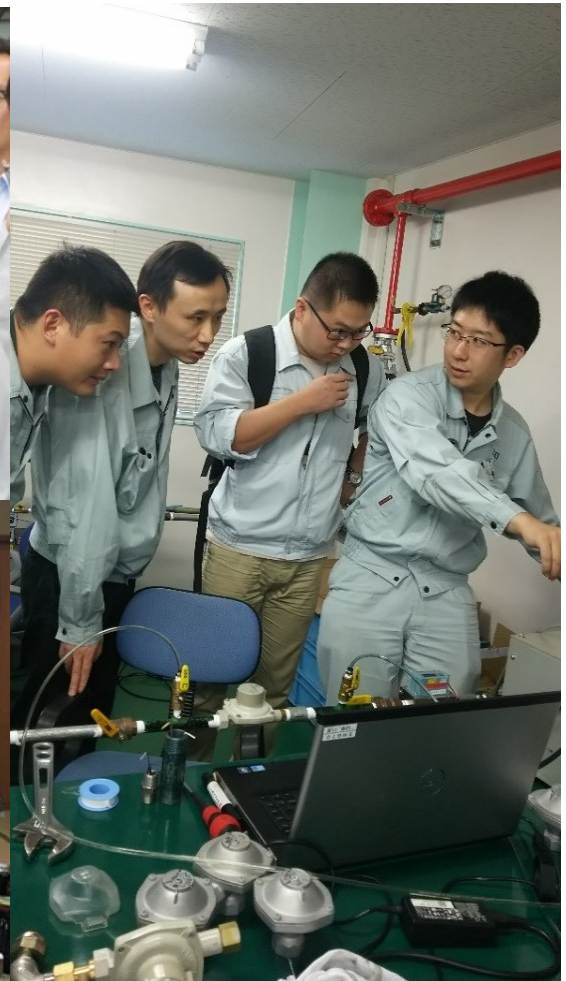
「企業は人なり」を大切に

・積極的な人事交流　⇒　日本での研修・日本人の短期留学

・日本流の福利厚生に努める　⇒　社内旅行の実施











Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

進出成功のポイント⑦

「企業は人なり」を大切に

- 可能な限り食事会など接する機会を持つ
- 記念事業には海外グループ企業も参加

最新の社員旅行も

▶

シンガポール(2019年)

。

ITOグループ、社員家族含め総勢217名が参加



初めての海外社員旅行、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ(1991年) ▼







Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

日本アセアンビジネス促進プラットフォーム　概要

1．目的・背景

○2023年、日アセアン友好協力50周年を迎え、次の50年を見据えた新たな関係を構築する時期にある。
○一方、国際情勢は不確実性が高まり、サプライチェーンの強靭化、環境・エネルギー問題、デジタル化対応等、アセアンと日本が協力して取り組むべき課題が山積している。
○日アセアン間で貿易、投資、技術協力などビジネス分野での互恵的な連携が従来にも増して求められているなか、二国間のみならず多国間連携の枠組みとしてプラットフォームを設置し、実践的な事業展開を通じて、両地域間の一層のビジネス拡大と経済関係の強化を図る。

2．構成機関・協力機関　※今後、趣旨に賛同する日アセアン関係機関の参加を目指す。

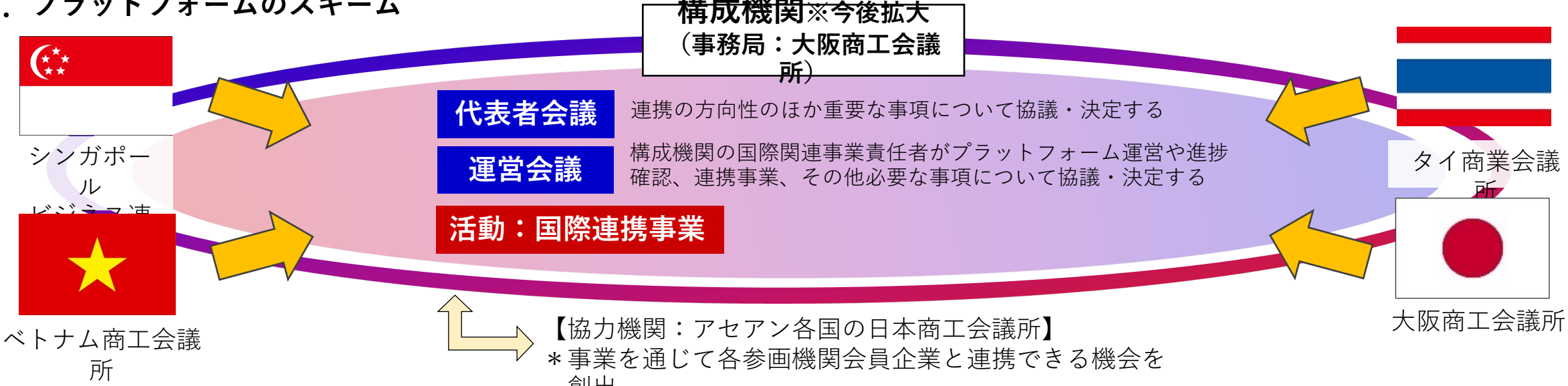
＜構成機関＞シンガポールビジネス連盟、タイ商業会議所、ベトナム商工会議所、大阪商工会議所
＜協力機関＞シンガポール日本商工会議所、バンコク日本人商工会議所、ホーチミン日本商工会議所

3．設置日　　2023年４月11日（火）

4．活動・運営

○参画機関（構成機関・協力機関）からの提案に基づき、2団体以上が参加することで日アセアン間のビジネス創出を促進する。
（例：貿易促進＜販路開拓＞、イノベーション創出、グリーン関連事業など）
○連携の方向性等を協議する代表者会議のほか、円滑な運営や互いのニーズのすり合わせ、活動レビューなどを行う運営会議を設ける。

5．プラットフォームのスキーム



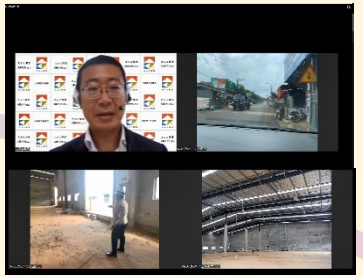
Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

日本アセアンビジネス促進プラットフォーム　今後の事業展開

販路開拓・販路拡大



✔海外情報セミナー（5月～）
✔アセアンビジネス個別相談会（6月以降）
✔ザ・グローバル・バイヤーズ[国際商談会]（6月・7月）
✔インドネシア・オンライン視察会（7月）





グリーン技術



✔タイ・グリーンニーズ発表会（6月）
✔タイ・現地ミッション（8月＜3日間＞）





スタートアップ



✔「Global Innovation Forum」アセアン編の開催（9月）
※日アセアンのスタートアップ企業によるピッチイベント



＜その他の予定＞

✔海外構成機関の拡大検討（インドネシア、フィリピン、マレーシア等）
✔国内各地商工会議所等との連携

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました



I·T·O

Innovation（革新）
Technology（技術）
Origination（開発）

Copyright (C) 2023 ITO Corporation . All Rights Reserved.